

粉薬



赤ちゃんにそのまま飲ませるのはかなりむずかしいので、ペースト状にしたり食べ物にまぜたり工夫をしましょう。ただし、お薬によって混ぜてはいけない食べ物や、混ぜるとかえってまずくなるものもあるので、お薬のつど薬剤師に相談して確認してください。

[ペースト状にして]

1.保護者の方は手をきれいに洗います。

赤ちゃんの口の中に指を入れたりしますので、石鹼できれいに洗ってください。(爪のお手入れもお忘れなく)

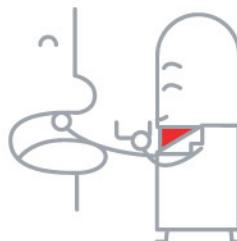
2.小さな容器に移し少量の水(ぬるま湯)を加える

水とまぜるには、小さな容器に1回分の粉薬を入れ、少しづつ水(ぬるま湯)を加えます。スポイトなどで入れると水の量の調節がしやすいでしょう。

3.水と粉薬を練ってペースト状に

きれいな指でよく練り、ペースト状にします。水の量が多すぎるとトロトロになり何度も飲ませることになり、嫌がる事もありますので注意して。

4.ほおの内側か上あごに塗りつけて



指先に練った粉薬を乗せ、味を感じにくく「ほおの内側」か「上あご」または「舌の奥のほう」にすばやく塗りつけます。「あーん」と声をかけて、自然に口が開いたところでやさしく与えれば赤ちゃんもいやがりません。

5.口の中に残らないように水などを飲ませる

お薬をサッと塗りつけた後、水などを飲ませてお口の中に薬が残らないように飲ませてあげてください。

飲ませ方

[好物に混ぜる]

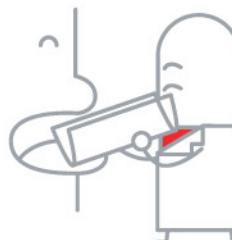


年齢が大きくなるとお薬を塗りつけようとしても、口も開いてくれない子もいます。そんなとき、好きな食べ物にまぜてごまかしましょうか…。ただし、まぜてはいけないものもあるので薬剤師に相談してください。

1.1回分の薬を全部まぜる

1回分の粉薬を、アイスクリームなどの好きな食べ物に混ぜおやつ感覚で食べてもらいましょう。時間がたつと薬の成分や味が変化してしまうので混ぜるのは食べる直前にしましょう。

[その他に]



ゼリー状オブラートに混ぜて飲ませる方法もあります。また、薬に慣れた大きい子なら、粉のまま飲ませることも出来ます。(むせないように注意してね) いずれの場合も、お薬を飲んだ後は水、または湯冷ましを飲ませましょう。

★アイスクリーム、ジュース、ヨーグルト、プリン、チョコレート、練乳などお子さんの好きなものに混ぜるのが良いでしょう。甘くて冷たいのは評判が良いみたいです。

✗主食に混ぜるのは薬のせいで食べなくなることがあるため避けましょう。また混ぜる薬によっては酸味のあるもの、熱いものなどで変質することもあるので薬剤師に相談してください。

✗ミルクには混ぜないで! 薬を混ぜて、ミルクが嫌いになってしまっては大変です。ミルクに混ぜることだけは避けて、甘いお菓子や冷たいものにまぜるようにしましょう。

お助け商品(薬局でお求めいただけます。)



ご注意)これらの商品を保証および推薦するものではありません。

ここにご紹介した以外の飲み方やご質問については、薬剤師にお問い合わせください。